

京都大学人社未来形発信ユニット第3回全学シンポジウム アジア人文学と産学連携—京大人社とNTT・日立との共同研究を通じて—

基調報告



澤田 純

日本電信電話株式会社
代表取締役社長

2019年11月、京都大学とNTTは、「IOWN構想」(スマートな世界を実現する、最先端の光関連技術および情報処理技術を活用した未来のコミュニケーション基盤)が実現する世界に向けて、京都大学の研究グループとNTT R&Dとの協働により、テクノロジーの進化と人が調和する新たな世界観を構築するプロジェクトを発足させました。

本プロジェクトでは、領域横断的な知としての哲学を新たに導入し、東洋的自己観をもとにリアルとバーチャルが融合する世界での新たな世界観の構築を目指します。今後、京都大学の人文社会科学の知とNTT R&Dのテクノロジーを活用し、IOWN構想が実現した世界における人の生きがいや倫理、社会制度を検討する取り組みを推進します。



鈴木 教洋

株式会社日立製作所
執行役常務CTO 兼 研究開発グループ長 兼
コーポレートベンチャリング室長

2016年6月、京都大学と日立は共同研究部門「日立未来課題探索共同研究部門(日立京大ラボ)」を京都大学内に開設し、文理融合による共同研究「ヒトと文化の理解にもとづく基礎と学理」を推進してまいりました。これから日本が直面するトリレンマ構造「Crisis 3.0」の提示や、AIによる未来シナリオの検討など、2050年の将来に向けたビジョンの提示を目指しています。

日立ではSociety 3.0の実現に向け「社会価値・環境価値・経済価値を重視した経営」を掲げています。これら三つを同時に向上させるというチャレンジングな課題のもと、日立京大ラボでは、「社会(分配の公正)、環境(持続可能性)、経済(生産の効率性)」の最適な組み合わせの実現に向けて、個人や企業の行動の中に社会規範・倫理的な志向を事前に組み込み、社会全体のWell-beingを向上させる試みを行っています。



出口 康夫

京都大学大学院文学研究科教授
人社未来形発信ユニット長

一見すると水と油に見える人文学と産業界。でも実は案外、似た者同士だったりします。新しい技術とは、新しい生き方、新しい社会のあり方の提案です。一方、人文知の使命もまた、より多様な価値観や世界観を紡ぎ出すことにあります。そして両者とも、西洋の単なる受け売りでなく、また安易なナショナリズムとも一線を画す、新たな社会のデザインコンセプトを、アジアから発信する必要に迫られてもいます。

このような認識のもと、京大人社系は「アジア人文学」を旗印に掲げ、人文学の産学連携の新たな可能性を開拓すべく、本シンポジウムを企画しました。人文学と産業界の実り豊かなパートナーシップの未来像がここにあります!

研究成果及び展望



渡邊 淳司

日本電信電話株式会社コミュニケーション科学基礎研究所・サービスエボリューション研究所兼高上席特別研究員



水野 弘之

株式会社日立製作所研究開発グループ基礎研究センター主管研究員 兼 日立京大ラボ長



唐沢 かおり

東京大学
人文社会系研究科教授



廣井 良典

京都大学
こころの未来研究センター教授



坂出 健

京都大学
経済研究科准教授



総合司会

國友 真由美
フリーアナウンサー
(京都大学文学部卒)



人社未来形発信ユニット基金

ニッポンの、アジアの、セカイの人文・社会科学を元気に! 寄せられたご支援を、本ユニットが取り組む人社系学術活動の活性化と発信力強化に活用していきます。



<http://www.kikin.kyoto-u.ac.jp/contribution/jinsh>

主催



人社未来形発信ユニット
Unit of Future Studies for the Philosophy and Social Sciences

共催



SACI Office of Society Academia
Collaboration for Innovation
京都大学 産学学連携本部

協力



HITACHI
Inspire the Next